鹿児島市立桜丘中学校
令和3年6月22日

第3号

不自由、不便、苦労の大切さ

校長　上久保大介

植物を種から育てるとき、芽が出たら小さなビニールポットに移し替え、ある程度大きくなったら少し大きい鉢に植え替え、最後に植樹します。このとき、小さな鉢に植えられた植物はストレスを感じ、栄養を求めて根をたくさん張り巡らせます。植物は植え替えるたびに張り巡らせた根をのびのびと広げ、多くの栄養を吸収できるようになるのです。種のうちから大地で育てると、植物は豊富な養分に満足し、頑張らなくても栄養はもらえると思い、根を張らなくなってしまいます。**不自由なく育った植物は結果、貧弱な姿になってしまうの**です。

これと同じことが子供たちにも当てはまるような気がします。

小さなビニールポットに植えられた植物は、高度経済成長のころの子供たちに似ています。**不自由だから、不便だから、苦労が多いからこそ**歯を食いしばって、でもよりよい社会になることを夢見て、上昇志向で頑張ってきたし、工夫もしてきました。それに対し、今の子供たちは、大地に直接植えられた種のようになりはしないか心配です。周りにある豊富な物資、高度に発達した情報機器や情報網などにより、**さほど苦労もせず欲しいものを得られる**ようになってきています。加えて、子供たちでさえ携帯電話やスマホをもち、**伝えられない不自由さ**や、**ほしい情報を得られない苛立ち**を経験しないまま成長しようとしています。生活が便利になることは良いこととしても、**工夫することを子供から奪い取ることは不幸を与えること**になります。**不便を知らない子、不自由を知らない子、苦労を知らない子が大人になってから、わざわざ面倒臭いことをしようと思うでしょうか。**「**LINEやメールを多用したためにコミュニケーションができなくなっている子**」「**スマホやパソコンから簡単に情報を得られるために自己解決能力が高まらない子**」「**叱られ慣れていないために、耐性が低い子**」など、精神面、気力面、能力面の低下が気になります。ある３０歳代前半の会社員から聞いた話です。「今年の新人は固定電話の経験がないから使い方も知らないし、電話対応もできない。」「遅刻してきて、『高校ではいつも遅れてきていました。』と笑って答える。」「始業前の掃除やラジオ体操をすすめると、『勤務時間前なのにしなければいけないですか。』と言う。」と。「勤務時間中に事故を起こさないためにやってるんだけどなあ。」と嘆いていました。自由を尊重しながらも、**厳しく躾けるべきところは躾け、物事の本質**はどこにあるのかを、きちんと考える経験を積ませることが、今こそ求められている教育であり、子育てであるとは思いませんか。

子供の求めるものを与えるだけではなく、かわいい子供にはもっと**不自由、不便、苦労を覚えさせるべき**だと私は考えています。しかし、これは放任とはまったく別のものです。**学校、保護者、地域は、快適な環境だけでなく、愛情ある意図した面倒臭さも子供に味わわせるべき**であると思います。

かわいいからこそ**大人は厳しく躾けるべきことがある**と思いますが、いかがでしょう。